



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



支部発足20周年記念行事参加者の皆さん (撮影：橋本泰博さん)

## 野鳥さが 195号 主な内容

- 佐賀県支部 発足20周年を迎える-----2~11ページ  
2014年度支部総会報告 20周年記念行事報告 安西英明さんの観察会  
20周年記念事業を終えて(参加者からのメッセージ)
- 各地の観察会報告-----12~17ページ
- 有明海の満潮時刻-----17ページ
- 東よか干潟シンポジウムのご案内-----18ページ
- 室内学習会のご案内-----18ページ
- 皆さんからのおたより-----19~22ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報-----22~23ページ
- 支部からのお知らせ-----24ページ
- さやかの四コママンガ-----25ページ
- 近隣地区の観察会情報-----26ページ
- 観察会場までの案内-----27ページ
- 観察会などのお知らせ(2014年7月~9月) -----28ページ



## 佐賀県支部は発足20周年を迎えました。

佐賀県支部は1994年6月の設立から本年度で20周年を迎えました。6月21日～22日にかけて支部総会を含めて記念行事を行いましたのでご報告します。当日は約90人の方々が訪れ、支部20周年を祝っていただきました。

- ① 6月21日 午後1時～ 2014年度佐賀県支部総会
- ② 6月21日 午後3時～ 発足20周年記念講演会&祝賀会
- ③ 6月22日 午前9時～ 野鳥観察会（県立森林公園&東与賀海岸大授掬）

### ■2014年度 日本野鳥の会佐賀県支部総会報告（事務局長 島田洋）

【日時】 2014年6月21日（土） 午後1時～午後2時30分

【場所】 ホテル マリターレ創世 佐賀市神野東2-5-15

【参加者】 江口純正、青柳隆、松原忠夫、松原はま子、田中丸雅雄、中原正義、馬場清、青柳良子、橋本泰博、加藤芳隆、松田信義、江里口立子、友岡周一、金崎勝一、中島睦子、千住利夫、千々岩昭敏、田村耕作、永松恒子、荒木潔枝、黒木厚子、井上岡子、福田康典、安井淳一郎、山崎章弘、松本幸子、中島修、中島由美子、宮原明幸、牟田政寛、高碓洋三、江口富美子、原野正道、江口征信、大川幸子、溝上くみ子、佐久間仁、八木ひとみ、上野武美、峰松小百合、猿渡メリー、島田洋、豊岡三郎、蒲原泰代、米倉聡子、橋間みち子、坂本賢吾、寺村朋樹、瀬戸口篤子、坂田紀子、蒲原留美、伊東淳子（以上52名）  
（オブザーバー 安西英明氏）

日本野鳥の会佐賀県支部は発足から20周年を迎えました。記念行事に先がけて、佐賀県支部の総会を開催しましたので報告します。

例年の支部総会は、有田竜門峡「竜門山の家」で開催し、参加者も十数人程度でしたが、今回は20周年行事に先だつての開催ということもあって、沢山の方が参加して下さり、内容のある、いい総会になったと思われました。

橋本泰博さんの司会ではじまり、議長には青柳隆さんが選任され議事は進行しました。総会で提案した内容（全員に配布した議案書参照）について、出席者から出された質疑や修正・追加した事項などについてご報告いたします。

【2013年度事業報告】に関して

議案書の中に「愛鳥モデル校の指導に当たった」件が欠落しているので追加する。

【2013年度決算】に関して

決算の中で、支部所有の双眼鏡が行方不明になっている件は、損金処理とした。

【2014年度事業計画】に関して

（① ⑨は削除）カササギバッチの販売拡大に引き続き取り組むことを追加した。

【2014年度予算】に関して

個人特別会員に関して、支部還元金等を含めあいまいな点があるので、本部と連

絡を取り合い、明瞭化することにした。

【佐賀県支部規約の改正】に関して

現状に合わない規約の内容が多々あるので、それらの改正点を提案し、意見を聞きそれらを参考に、内容の見直しを役員会ですることにした。

改正した規約は後日、全員に配布することにした。

【その他】

- ① 総会の時期が6月では遅いのではないか、との指摘があった。  
今後の検討事項となる。
- ② ラムサール条約登録の対象範囲が変更になるらしいが、この点についての質問があった。島田事務局長より、「対象範囲についての詳細な情報がないので、軽率なコメントは出せない」と回答した。

## ■日本野鳥の会佐賀県支部 発足 20 周年記念行事報告

佐賀県支部が発足 20 周年を迎えるに当たり、支部総会のあと、記念講演会と祝賀会を開催しました。翌日は、観察会も実施しました。

開催日 平成 26 年 6 月 21 日（土）～6 月 22 日（日）

第 1 日目（21 日） 講演会・祝賀会を、「ホテル マリターレ創世」（佐賀市）にて開催

第 2 日目（22 日） 野鳥観察会を、県立森林公園・東与賀海岸大授掬にて実施

\* 第 1 日目の会場入り口（受付）では発足 20 周年を記念して製作した「カササギバッチ」を、1 個 500 円で販売しました。

### 第 1 日目（6 月 21 日）

午後 1 時より、平成 26 年度支部総会を開催し、午後 3 時から、発足 20 周年記念講演会を開催しました。講演会に先立ち、20 年前に支部立ち上げに尽力された佐久間仁氏（現在 公益財団法人日本野鳥の会理事 & 佐賀県支部 副支部長）から、立ち上げる頃の苦労話をいただきました。

引き続き、（公財）日本野鳥の会主席研究員の安西英明氏が「いつでも どこでもバードウォッチング」と題して講演をなさいました。「野鳥座」の衣装を着た受付嬢から資料を受け取って入場した人は、約 90 人にのぼり、準備を進めてきたスタッフの表情もほころびがち。

生命とは何か、生物とは何かについて、宇宙規模から話は始まり、地球 46 億年の歴史を 1 年間で例えると、恐竜の出現は 12 月中旬にあたり、鳥類は恐竜の「生き残り」になるという鳥の定義を解り易く話されました。話題は鳥類に限りません。

植物から昆虫類、サル目ヒトへ、と広がり 鳥類の話も実に壮大かつ詳細で興味深いものでした。カラスの鼻の孔、スズメの子育て、若鳥の学習行動の面白さ、サギが飛びながらパッと脚を開いて身を汚さぬように排泄する話など、またカササギが日本に少ないというのは一つの謎であることなど、次々と勉強になる話が続きました。



「act local, think global」(活動はローカル、頭の中はグローバル)という言葉が印象に残りました。

まだまだ聞きたいけど、時間に限りがあったので 講演は終了しました。

祝賀会では、冒頭 島田洋事務局長が、支部 20 年の歩みについて説明をしました。そして、20 周年記念として作った「カササギバッチ」をデザインした山崎章弘(ふみひろ)さんを紹介し、コメントをいただきました。

また、20 年間の活動を支えて下さった歴代支部長を代表して中島睦子さんのご挨拶や中原正義さんの「乾杯の音頭」などで祝宴は和やかに進みました。



① 受付の劇団「野鳥座」の皆さん



② 安西英明さんの記念講演



③祝賀会 乾杯の音頭は中原正義さん



④祝賀会 安西英明さんを囲んで

(写真提供：①青柳隆さん ②③④加藤芳隆さん)

### ●佐賀県支部発足20周年記念行事 安西英明さんの講演

記念事業の主要行事は安西英明さんの講演です。 安西さんの講演内容は極めて壮大かつ詳細なものでした。(報告者は事務局・島田洋さん)

【日時】2014年6月21日午後3時～午後5時

【会場】ホテルマリターレ創世

【講師】安西英明さん(日本野鳥の会主席研究員)

【演題】いつでもどこでもバードウォッチング

【配布資料】①「基調講演：鳥と地域と、地球と宇宙(安西英明)」

②「日本教育：平成 25 年 1 月号 知られざるを知り、自分と今を知る」

【講演内容】

安西さんは、バードウォッチングそのままの格好で登場しました。マイクを手にまずは自己紹介。早速講演が始まりました。

生物の多様性という話が出てきました。生物の分類も、改訂の繰り返しです。かつては「五界説」というのがありましたが、今は「3ドメイン説」（真核生物ドメイン、真正細菌ドメイン、古細菌ドメイン）が主流です。鳥類においても例えばウグイス科はセンニュウ科、セッカ科、ムシクイ科などに分割されました。

鳥類は以前、世界で 1 万種類とか言われたのが、今や 2 万種類に分類されています。

昆虫だけでもおそらくは 3000 万種類、菌類は 150 万種類以上でしょう。

これだけの生物をはぐくむ地球。さまざまな好条件に恵まれました。

①太陽からの適正な距離にあること。

②木星が、多くの隕石を引き寄せてくれるので、地球への隕石衝突が、少なかったこと。

③太陽系が銀河系の中心から離れているので、放射線の被曝が少なくて済んだこと。

その地球上での生物進化について話が及びました。

安西さんは長さ 6m のひもを取り出しました。地球 46 億年の歴史を 6m のひもで表現します。あるいは 46 億年を 1 年間に例えて考えてもいい。

多細胞生物が出現したのは「10 月」過ぎ、脊椎動物は「12 月初め」、恐竜の出現は 2 億 2000 万年ほど前なので「12 月中旬」です。

恐竜以降に現れた生物は、「鳥類、哺乳類、被子植物、キノコ類」の 4 つです。

キノコ類がそんなに新しい生物だとは意外でした。

昆虫でも、バッタ、カマキリ、トンボなど不完全変態をする昆虫は恐竜以前からいました。

チョウ、ガ、ハエなど完全変態するのは恐竜以後らしいとの事。ノミは新しい。完全変態をします。生態系も、生産者、消費者、分解者という視点でのとらえ方もあります。

キノコは分解者です。

生物を観察する時もこのような大きな観点を背景にして、観察していくべきでしょう。

英語で表現すると「act local, think global」です。

安西さんの話は、ヒトと鳥類の共通点に及びます。

哺乳類は一般に嗅覚にたより、メスだけが子育てにあたります。鳥類は視覚に頼り、雄と雌で子育てをします。ヒトは、哺乳類でありながら、非常に鳥類的です。

他にも鳥類の特徴はいろいろあります。

鳥類は一般に腸内細菌をもちません。だから、鳥類は葉っぱ類を消化しきれません。

植物のセルロースを分解するには腸内細菌が必要です。ただ、ライチョウだけは腸内細菌を持っているそうです。

鳥類の目には瞬膜があります。カラスの瞬膜は白く、カワガラスの瞬膜は透明。

カササギは求愛の時期には瞬膜にオレンジ色の模様が出るそうです。ヤモリには瞬膜がありません。そのかわり、舌で目をなめまわします。

6 月は、子育ての時期。スズメは巣立ちまでに 2 週間、親離れにまた 2 週間だそうです。いずれにしろ成長は速い。その中で野鳥のヒナや若鳥は次々に死んでいきます。

それがありのままの自然でもあります。若鳥たちはいろんな失敗をたくさんしながら、多くの事を学習していきます。ヒキガエルの毒を外して食べるカラスもいるそうです。

他にも野鳥の排泄のこと。サギは飛びながらパッと脚を開いて排泄するそうです。カラスの鼻の孔のこと。羽毛で孔が隠されているらしい。気づかなかった。

野鳥たちはいろんな声を出します。鳴き声についても面白い話がたくさんありました。他にもいろんな話がありましたが、書ききれません。

時間はたちまちのうちに流れ、質疑応答の時間となりました。

島田からは次のことを質問しました。「目も開かぬツバメのヒナを拾って来た方がありました。助けてやりたいとの事でしたが、難しいと思います。どうしてやればいいでしょうか？」

安西さんは、「野鳥の世界のありのまま、生きることのむずかしさを話してあげたいですね。一部のヒナが犠牲になって他のヒナが成長していけるかもしれないし、・・・その方の気持ちを大事にして話してあげましょう。」

他にもカラスの事や、カササギのことなどいくつも質問が出ました。

しかし、いよいよ時間も押し迫り、安西さんの講演は終了となりました。

今まで知らなかったこと気づかなかったことが、盛りだくさんの講演でした。

佐賀県支部の今後の活動に大きな影響を与えていくことが期待されます。

## ■20周年記念事業 安西英明さんの観察会

6月22日(日)に20周年記念事業の一環として安西英明さんの指導のもとで観察会を行いました。午前、午後と2か所で行いました。(報告者は案内役の島田洋さん)

### 午前の観察会 第199回森林公園観察会

【日時】2014年6月22日(日)午前9時～午前11時40分

【場所】佐賀県立森林公園

【参加者】安西英明(日本野鳥の会主席研究員)、友岡周一、安井淳一郎、佐田秀文、佐田映子、田村耕作、原野正道、馬場清、中島睦子、橋本泰博、金崎勝一、高木敏幸、江里口立子、蒲原留美、上野武美、田中丸雅雄、中島修、中島由美子、宮原明幸、加藤芳隆、青柳良子、島田洋(案内役)

【観察できた野鳥・生物】カイツブリ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、チュウサギ、アオサギ、アマサギ、キジバト、ドバト、コゲラ、ヒバリ、イワツバメ、ツバメ、セグロセキレイ、モズ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス(鳥類25種類)  
アオスジアゲハ、コシアキトンボ、マダラスズ?など(昆虫類)

ジョロウグモ、ウロコアシナガグモ(クモ類)、キノコ類、コケ類、カエデ類など

【観察会の内容】雨でしたが、雨天決行です。安西さんも9時前に到着しました。

今日の観察会のテーマは、「子育て」です。まず、安西さんがリュックから野鳥の巣やメジロの個体標本を取り出し、繁殖行動などについてレクチャーをされました。

「野鳥の頭かき」について参加者から質問があり、これについても安西さんからいろんな話がありました。カワセミ、チドリ類、アホウドリ、ペンギン、スズメ目の大半は間接頭かき。シギ、サギなどは直接頭かきとのことです。オオヨシキリはなんと直接頭かきかもしれないとの事。しっかりと観察しよう。ペンギンの頭かきでは、水族館に通って観察を続けた人がいたそうです。



(写真提供：島田洋さん)

雨ですが、森林公園を歩きながら野鳥など観察をしました。芝草の中から虫の声。「マダラスズかな」とのこと。ムクドリやカラスの若鳥なども、登場しました。ジョロウグモの巣は3層構造。巣の前で、音叉を鳴らすと、クモが反応して動きだします。カエデの果実では、2枚の翼果のなす角度が、種によって異なるそうです。コシアキトンボやキノコの観察。足元の苔を見て「5種類ありますね」とのこと。そんなに多種類の苔があるとは今まで思いもかけませんでした。ウメノキゴケ(地衣類)を見て「佐賀は空気がきれいですね」。嘉瀬川河川敷はアシ原が広がり、オオヨシキリの声。頭かきを観たかったけどついにその機会はありませんでした。ハシブトガラスの傍に、ハシボソガラスの親子。巣立ちがひと段落したところらしく、2種類のカラスの間に険悪な雰囲気はありませんでした。

観察会とか言いながら、今までの私は何を見ていたのだろう。私にとっては、衝撃的とも言える体験でありました。時間の関係もあり、急ぎ足で、駐車場に戻り、鳥合わせなどをして午前の部を終了しました



(写真提供：加藤芳隆さん)

## 昼食会

【場所】佐賀市東与賀町田中「丸善」

【昼食会の内容】東与賀支所の近所にある料理店「丸善」で昼食をとりました。安西さんは店のすぐそばでカササギの観察。

「カササギが見られてよかったです」

昼食の献立はニシアカガイの酢の物、ムツゴロウの黒焼き、小エツのから揚げ、ゆでたガザミなど有明海の海産物です。

部屋の隅のテーブルの上に、安西さんは野鳥の羽根の入ったファイルを何枚も並べられました。

「何の羽根でしょう」参加者が、テーブルの前に集まり、喧々譁々の検討会となりました。正答率はかなり高かったと思います。佐賀県支部は優秀だと思います。



羽根についての説明  
(写真提供：島田洋さん)

## 午後の観察会

【日時】2014年6月22日午後1時30分～午後2時30分

【観察できた野鳥・生物】オバシギ、セッカ、ムツゴロウ、トビハゼ、フナムシ、シオマネキ、ヤマトオサガニ？シチメンソウ

【観察会の内容】観察会は、干潮の時間帯でした。広大な干潟が広がり、無数のムツゴロウ、カニ類が動いていました。壮大な風景です。はるか遠くにオバシギが、何羽か見えたそうです。足元の潟の泥の上に、何十匹もの白い小さなハエが半身を埋めるようにしています。昆虫は一般に、海水が苦手です。海岸に生息するハエ類は5種類ほど。

そのひとつかもしれません。

ウスバキトンボが飛んでいました。

安西さんとトンボの話。アキアカネは水面に腹を打ちつけるようにして散乱します。(打水産卵)。

ナツアカネは空中で卵を振り飛ばします。(連続打空産卵)。

トンボの世界も実に多種多様。チゴハヤブサは♂♀が連なったトンボを空中で捕食しますが、食われるのはオスだけ。

いつまでも話をしていたいが、飛行機の時間が迫ってきました。大授掬の観察会は終了となり、安西さんは15時35分の飛行機で帰京されました。

安西さんの佐賀滞在は、わずか2日間でしたが、実に多くの事を教えていただきました。今後の佐賀県支部は、さらに成長していくでしょう。



(写真提供：加藤芳隆さん)





## ■20周年記念事業を終えて

本年度の支部最大?の行事である20周年行事終了後、記念講演会を引き受けてくださった安西英明さんをはじめ、運営に携わっていただいた方や参加者からメッセージを頂きました。

### (1)「佐賀県支部の皆様へ」・・・日本野鳥の会主席研究員 安西英明さんより

総会から参加させていただきましたが、きちんと議論をして合意をされる真摯な取り組みに、まず感銘を受けました。

各地の支部活動から相談を受ける度によくお話させていただくのですが、いろいろな人が関わる支部活動は、すんなり行くほうが奇跡ではないでしょうか？ すったもんだがあって当たり前で、それを乗り越えていくことが歴史を刻むことになるわけですから、活動は続くことだけでも意味があると思います。

総会後の懇親会も、翌日の探鳥会も、お陰さまで、役得というべき楽しい思いをさせていただきました。

探鳥会では『野鳥の親子を探そう』というテーマを掲げさせていただきましたが、ムクドリやスズメやカラスの親子に出会うことができました。

最も印象に残っているのが、ハシブトガラスとハシボソガラスの親子が、全く互いを気にせず、共存していたことです。「ブトとボソの種間なわばりに注目しよう」と言い出したのは 故浜口哲一さんだったと思います。神奈川の支部長もされていましたが、トコロジストの提唱者として、野鳥の会では今も志が引き継がれている方です。

拙著「野鳥e c o図鑑」では、ハシボソの子がハシブトに食い殺された事例を貫太郎の思い出として紹介していますが、森林公園の例を見て、繁殖密度や食物資源などによっては2種の繁殖は共存できる、と思った次第です。

密度といえば、川に出てオオヨシキリの「頭かき」を観察しよう、となった時、これだけオオヨシキリの姿を見ることができるのは、繁殖密度が高いためと思えました。例えば東京などの湿地で密度が低いところでは、オスが歌ってはいても、あまり姿を見せることはありません。

最後に、大授搦に連れて行っていただき、久々にヒバリやシロチドリの親子を見ることができました。東京都では、すでに絶滅危惧種ですから、それだけで嬉しかったのですが、広大な干潟を眼前にして、これこそが干潟なんだ！と感動しました。

東京をはじめ、各地の干潟の保全に関わって来ましたが、今やほとんど「切り貼り」状態の小規模な干潟になっております。遠くがくすむような干潟の光景は本当に久しぶりで、子供時代までさかのぼって、いろいろな記憶が甦りました。

### (2)「20周年記念事業を終えて」・・・副支部長 青柳良子さんより

1年前ぐらいから「来年は20周年だね・・・どんなことをしようか？」ということは、役員会でも話題にしていたのですが、具体的にになってきたのは昨年12月の役員会からでした。「カササギバッチ」は10月の環境フェスタに間に合わせようと、早くから取り組みました。安西英明さんのスケジュールも確認し（それでもやりくりして6月21・22日を予定して下さいました。） 航空チケットを予約し、会場を決め・・・出欠確認の往復

はがきの用意をし・・・ 忙しかったけど、ワクワクして楽しく仕事を進めて来ました。

はがきを出してから、総会の時間を30分延ばし、講演会の始まりを1時間遅らせたため、当日、予定が合わなくなってしまった方がいらっしゃいました。すみませんでした！返信はがきの中には 次のようなメッセージを添えて下さった方がいらっしゃいました。

- \*何とか出席しようと算段したのですが、うまくいきません。残念ながら全て欠席です。
- \*指導している子どもたちの大会がありますので、残念ながら参加できません。盛会を祈念します。
- \*もう少し早ければ出席できたと思うと残念です。(帰郷のため、有田です。)
- \*協力できず、誠に申し訳ありません。
- \*20周年おめでとうございます。いつもありがとうございます。  
何のお手伝いも出来ず心苦しく思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- \*お忙しそうですね。お体大切に ご自愛下さいませ。
- \*ご盛会を祈念します。案内状ありがとうございます。
- \*残念ですが出席できません。梅の出荷の時期なのです。皆様によろしくお伝えください。
- \*講演会・祝賀会の御盛会をお祈り申し上げます。名ばかりの会員で申し訳なく思います。
- \*ほとんど活動に参加できず申し訳なく思っております。
- \*名前だけの会員で申し訳なく思っています。
- \*何の協力もできなくて申し訳なく思っております。ご盛会を祈っております。
- \*いつもお世話様です。
- \*名ばかりの会員で申し訳ありません。でも、鳥さん 大好き。さえずりに心躍らせ自然にいつも幸せを頂いております。会報も楽しみです。ありがとうございます。
- \*いつもありがとうございます。カササギがぴょんぴょん道をわたってた日に。

お目にかかったことがない方もいらっしゃいますが、「野鳥」という繋がりで「仲間」を感じ、どの一言も嬉しく拝見させていただきました。ありがとうございました。

観察会のご都合のつく時にいらっしゃってください。「名前だけの会員」と卑下するには及びません。時々届く支部報を「楽しみ」と思って下さるのを知ると私達事務局も励みになります。「盛会」を祈念して下さった方にご報告いたします。「大盛会でした！！」

当日の会場では、有意義なお話・会員同志の楽しそうな笑顔・・・これからの支部活動のための「大きなはずみ」になったような気がしました。

次の30周年を目指し、会員数を増やして、また有意義な記念行事が行えるよう頑張っ  
て行きたいと思っています。

### (3) 福岡支部 田村耕作さんより

20年振りに定例総会に参加した。前は、佐賀支部(当時)の設立総会だった。今回は、豪華なホテルのホールでの総会&20周年記念行事に泊まりで参加した。記念のカササギバッチはクスノキの枝から飛び出すカササギ。お土産に6個購入。

議案、いろいろ参考になった。例年の総会、何人位かな？  
その後、安西節の講演会、やっぱり興味深い。

交流会、同席した会員がどういうわけか福岡に縁のあることで、盛り上がりました。交流会2次会、佐賀の会員さんとの交流でしたが、都合で遅れて参加。郷土料理、エツのから揚げをはじめ、有明の魚介類、良いですね。

2日目、森林公園の探鳥会、雨の中の参加。しっかり見たいので、望遠鏡持参で参加。リーダーの島田さんの進行、講師の安西さんの解説とその手下げバックの中、興味一杯でした。探鳥途中で、バックから小鳥の卵の模型、チョウセンメジロの剥製、オンサー、いろいろな羽、参考になりますね。安西節は真似できないが、道具類は大変参考になった。鳥合わせして、お昼を。東予賀の干潟公園近くで有明の魚介類定食。

干潟公園では草地にいるヒバリの群れを観察。そばの裸地でシロチドリやコチドリを目撃。干潟ではダイサギが点々と見かけられた。遅い渡りなのかオバシギ・ダイゼン・ハマシギの集まった群れを遠くに見かけた。

ほんのり赤く色づきはじめてたシチメンソウの群落は、さすが有明海、いいですね。

—私の手帳から—

【森林公園で見かけた種】カイツブリ 1、コサギ 1、ゴイサギ 4、アマサギ 1、ダイサギ 10+、アオサギ 2、チュウサギ 1、キジバト 6、コゲラ 1、ツバメ 2、イワツバメ 1、ヒバリ 2、セグロセキレイ 1、モズ 2、ウグイス 1、セッカ 3、オオヨシキリ 10+、シジュウカラ 1、ホオジロ 1、カワラヒワ 7、スズメ 10+、ムクドリ 30+、カササギ 1、ハシボソガラス 6、ハシブトガラス 10+、カワラバト 6

【干潟公園で見かけた種】ヒバリ 10+、カワラヒワ、ツバメ、シロチドリ、コチドリ、オバシギ、ハマシギ、ダイゼン、ダイサギ、セキセイインコ



探鳥会開始



安西さんの探鳥会の小道具



有明海定食  
エツ・ムツゴロウ・アゲマキなど



木の天辺で囀るオオヨシキリ



有明海の紅葉が始まるかな  
感謝します。

ゆっくりと有明海を含めた佐賀を満喫しました。





## 各地の観察会報告



### ■第 197 回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 5 月 11 日

【参加者】原野正道、松田信義、青柳良子、溝上くみ子、高山英一、福田康典、蒲原留美、大川幸子、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、アマサギ、アオサギ、クサシギ、ソリハシシギ、チュウシャクシギ、キジバト、ドバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】晴天でした。参加者の人数は少なめですが、8 時過ぎに観察をはじめました。カワラヒワやシジュウカラ。体は小さいが、元気な鳴き声。芝生には、カラスの親子。餌をもらう子ガラス。口の中は赤い。そして、ちらほらと昆虫たちが姿を見せました。アオスジアゲハ、アゲハ、モンシロチョウなど。ただ、その数は少ない。虫が少ないと野鳥の子育てにも影響があるでしょう。高山さんが若葉の陰に蝶の姿を見つけました。羽の裏側だけが見えます。よくぞ見つけるもんだ。ゴマダラチョウであることが後で判明しました。嘉瀬川河川敷の芦原にはオオヨシキリの声です。川岸の泥の上を歩く野鳥。ソリハシシギ、チュウシャクシギ、クサシギが 1 羽ずつ出てきました。上空を飛ぶ 4 羽の白いサギ。アマサギのようです。日差しが強い。日影がほしくなります。22 種類の野鳥が観察できましたが、その数は少ない。虫も少ないというのが今日の感想でした。

### ■東与賀海岸・大授掬観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 5 月 18 日

【参加者】中島修・由美子、八木ひとみ、松田信義、友岡周一、島田洋、川原菩・瑞子、青柳隆・良子、高崎洋三・由美、中村さやか、福田康典、宮崎末徳、江口富美子、溝上くみ子・進治、蒲原泰代、永尾敦子・咲月（10 歳）・瑞歩（8 歳）、蒲原留美、江口征信・叶子（小 5）、田代規生・祐子、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、ツクシガモ、ヨシガモ、コアジサシ、ヒバリ、オオヨシキリ、スズメ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、オバシギ、キリアイ、エリマキシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ

【案内役からの一言】集合はいつもより遅い 10 時。すでに長崎支部の 20 名や、福岡の方が観察している。観察会の参加者も 28 名あり大賑わいだ。堤防下に降りると、まずはチュウシャクシギの群れ。潮高に恵まれ干潟は水没しないで程良く残ったままである。岸側から水際へ小さい鳥から大きい鳥へ、トウネン、ハマシギ、ダイゼン、オオソリハシシギの順である。群れのなかにまずはエリマキ

シギ、次にサルハマシギを見つける。目の前にわずかに残るツクシガモが着水。ダイシャクシギ、ホウロクシギの群れも飛んでくる。最後にキリアイを見て終了。残念ながら数日前まで見られたカラフトアオアシシギは現れませんでした。

## ■第 198 回森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 26 年 6 月 1 日

【参加者】 田中義一、馬場清、内野孝治、溝上くみ子、田中照美、福田康典、西岡成則、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】 ハジロカイツブリ 1、ゴイサギ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、キジバト、ドバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】 午前 8 時少し前、観察会の準備をしていたら、手に小さな器を持った女性から声をかけられました。「野鳥の会の方ですか？」「ツバメのヒナを拾いました。巣に返しても親鳥が面倒をみません。どうしたらいいですか？」器の中にはまだ目も開かない裸のヒナが 1 羽。巣立ちには程遠い雛です。観察会の他のメンバーも雛をのぞきこみます。「うーん。巣から落ちたかね・・・」基本的には雛を拾わないでというのが野鳥の会のポスターの言葉ではありますが、その女性の気持ちを考えると残酷な気がします。その女性は納得しきれない表情でお帰りになりました。

観察開始。鳥の姿は少ない。初めての参加者にはなんか見せてあげたいな。見上げると樹木の枝に高さ 20cm くらいの徳利を逆さにしたようなのが目に入りました。コガタスズメバチの巣です。とりあえずは、コガタスズメバチの巣の観察です。ケヤキの葉の虫こぶを観たり、シジュウカラを観たりして、森林公園を通り抜けました。嘉瀬川河川敷にはオオヨシキリの声。水面にカイツブリの姿。初参加者のお二人にはカイツブリを観てもらおうかな。フィールドスコープに鳥の像が入りました。おかしい。普通のカイツブリじゃない。図鑑を開いて、確認作業。ハジロカイツブリの繁殖羽です。鳥が水面で背伸びします。白い腹部がはっきりと見えました。定例観察会でハジロカイツブリを観たのは初めてだと思います。高校総体が行われていて、野球場周辺は高校生だらけです。木陰で鳥合わせをしました。20 種類。ハジロカイツブリを目撃したのがひとつの収穫だったと思います。何事も丁寧に観察しましょう。思わぬ発見があります。

## ■岡山森林公園 探鳥行報告（岡山県）

【日時】 平成 26 年 6 月 6 日～8 日

【探鳥地】 岡山森林公園&吉備中央町

【参加者】 加藤芳隆 中島由美子 中原正義 宮原明幸（案内役）

【観察された野鳥】 カルガモ、ダイサギ、アオサギ、クマタカ、トビ、コノハズク、キジバト、アオバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、ジュウイチ、ヨタカ、ヤマセミ、アカショウビン、ブッポウソウ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、イワツバメ、

コシアカツバメ、ツバメ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、トラツグミ、クロツグミ、ウグイス、ヤブサメ、オオルリ、キビタキ、ヒガラ、コガラ、シジュウカラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、カケス、ハシブトガラス

※長文のためコメントは19ページの皆さんからのお便りの中に掲載しています。

## ■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成26年6月8日

【参加者】 峯松タカ子、三浦司一、田中義一、西岡成則、原野正道、松原忠夫、野田登司、田中政和、田中智美、上野武美、佛坂新一、佛坂安恵、伊藤樹、福田康典、江口富美子、野口美樹・ほのか（小5）、松浦郁子・みゆう（小1）、小柳政春、高山英一、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】 ダイサギ、アオサギ、アオバズク、キジバト（声）、カワセミ、ヒバリ（声）、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ（幼鳥）、ウグイス（声）、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、カササギ、ハシブトガラス、チョウゲンボウ、ホトトギス（声）、アイガモ（?）

【案内役からの一言】 野鳥の会と同じく「自然を守ろう!」と活動している仲間「ネイチャー佐賀」と偶然にも同じ場所で同じ時刻開催ということなので「コラボしてみませんか!？」となりました。この日は学校行事や野鳥の会関連の行事もあり、参加者は少ないだろうと思っていましたが、22名になりました。ネイチャー佐賀の方も20名以上の参加で、かなりの人数になりました。

「本日のメインはアオバズク!」ということで、はるか南の国からやって来てくれたアオバズクをみんなでジックリと観察しました。

ネイチャー佐賀の皆さんもスコープを覗いて喜んでくれました。

その後、私達は川原へ。ネイチャー佐賀は多布施川河畔公園へと分かれまして。

メダイチドリの子育ては? と期待しましたが・・・3匹もの犬が遊んでいて野鳥の姿はナシ! ガッカリしていたところ「カワセミだ!」の声。皆の目はカワセミにくぎ付け。川に飛び込んだと思ったら、エサをくわえて上流へ飛んで行きました。子育て中だったのでですね。

野鳥が少ない時季ですので早めに切り上げて、ネイチャー佐賀へ合流しました。

ヤゴやザリガニなど川の中の生き物をたくさんつかまえて確かめていました。

が、野鳥の会の皆さんは少々お疲れ気味だったので、そこで解散としました。

ネイチャー佐賀の皆さんは子どもが主役。野鳥の会との年齢差を感じました（笑）

## ■東与賀海岸・大授搦観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成26年6月15日

【参加者】 加藤芳隆、友岡周一、松田信義、青柳良子、木村隆、新田直哉、上野武美、島田洋、江口富美子、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】 ダイサギ、アオサギ、ミサゴ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、コオバシギ、オバシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロ

クシギ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、オオヨシキリ、セッカ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役からの一言】堤防の外の水田では田植えが始まりました。いつもより早い午前8時の開始と、W杯サッカーのためか、参加者は10名と少ない。まずは公園の方を回る。芝生広場には水田を逃れてきたヒバリが数十羽。西側の空地では今年生まれのシロチドリの幼鳥とコチドリ。干潟の方へ下りると、鳥たちは西の方に数十羽のみです。1ヶ月前には数千羽いた鳥たちも繁殖地に旅立ったのだろう。数が少ない分、じっくりと観察することができました。

## ■サシバ観察会報告（唐津市）

【日時】 平成26年6月29日

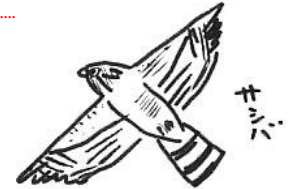
【参加者】馬場清、江口富美子、有吉隆幸、田中政和、松原忠夫・はまこ、山口蒼生、原野正道（案内役）

【観察された野鳥】サシバ、ホオジロ、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス、コサギ、ホトトギス

【案内役からの一言】サシバ、今年は4月14日に最初に顔を見せてくれました。今年も巣立ちまで新聞&朝食&FMタイムはサシバの観察地近くです。

例年、抱卵の期間中はのんびりしてあまり動きません。時おりカラスがちょっかいだしてヤキモキさせました。6月初旬活発に飛ぶようになり孵化を感じさせます。6月25日昼休み、1羽がおぼつかない羽ばたきで飛び出しました！巣立ちです。29日の観察会、良く飛んでくれましたね。ここは営巣地の山並みが深い谷を挟んでいて、狩り場まで一望出来ます。観察圧は少ないと思えます。

二羽が巣立ちしたようです。その後も餌運びしてました。7月6日昼休み、工場の近く檜のてっぺんでしきりにないてます。別れに来てくれたのかな？秋までに自立し渡りの体力をつけねばなりません。翌年まで生き延びれる個体は半数に満たないと聞きます。バイバイ、来年も必ず会えますように。



## 番外編（観察会以外の支部行事 及び 他団体の行事への協力についての報告）

### ■久留米市立小森野小学校 野鳥観察会指導（報告者：島田洋）

【日時】 平成26年6月4日

【場所】 佐賀市富士町「北山少年自然の家」

【野鳥観察指導】 佐田秀文、馬場清、島田洋（担当）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、トビ、キジバト、カワセミ、ホトトギス、ヒヨドリ、ウグイス、カワラヒワ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【担当者から】私が「久留米市立小森野小学校」の先生から野鳥観察会について相談を受けたのは4月半ばでした。6月4日から5年生の「一泊研修」を計画しているが、その冒頭のプログラムとして野鳥観察会を行いたいとの事でした。

引き受ける事にしました。馬場清さん、佐田秀文さん、そして私（島田）の3人が野鳥観察の指導講師をします。馬場さんと佐田さんは、北山少年自然の家周辺を

事前下見。3コースが用意されました。  
前日の天気予報では、100%雨。しかし、当日は、曇っているけどなんだかやれそうです。午後2時に北山少年自然の家の広場に集合。小学生は44人。先生たちも6人です。佐賀県支部から双眼鏡を貸出し、首にかけてもらいました。



(写真提供：馬場清さん)

3コースに分かれます。私（島田）は、Aコースを担当しました。北山少年自然の家を出て、山間の水田地帯を歩くコースです。林ややぶ、田植えの終わったばかりの水田、水路、水たまりなど変化に富んでいます。スイカズラの花がきれい。Aコースを歩くのは小学生15人と先生です。子供たちは嬉しくてたまらない。女の子が私に話しかけてきます。「私は、田舎が大好き。じいちゃんのおいがする。」男の子は「おった。おった。カエルだ。」と大騒ぎして、トノサマガエルを捕まえていました。野鳥は、たまにダイサギやらカワラヒワなどが出現。フィールドスコープをのぞいてもらいました。昆虫もいろいろ出てきます。カミキリムシの仲間、ジョウカイボン、モンキアゲハなど。両生類のアカハライモリが、大人気。男の子がいじくりまわしていました。「手を洗えよ。イモリの皮膚は毒がある。」イモリとヤモリをみんな混同しています。先生たちも例外ではありません。解説を要しました。あれこれ楽しんで、たっぷり時間をかけて、ようやく北山少年自然の家に帰り着きました。全員集まって、「鳥合わせ」。3コース合計で15種類の野鳥が観察されました。雨も大して降らず、けがもなく観察会は無事に終わりました。子供たちと先生には、大自然の多様さ、楽しさを実感してもらえたと思います。これからもこのような企画に携わりたいと思います。

### ■「徐福・湿原の森づくりの会」活動参加報告（報告者：馬場清）

佐賀県支部の支援協力団体の「NPO 法人徐福・湿原の森づくりの会（東名縄文館）」の講演会及び定期総会に参加しました。

【日時】 平成26年5月19日

【場所】 佐賀市大和町 巨勢川調整池（縄文の湖）「東名縄文館」

【参加者】 青柳良子、田中丸雅雄、馬場清

【講演会内容】・東名遺跡の重要性 ・遺跡内の出土品の貸し出し ・小学生向け、一般向けへの出前講座 ・体験学習「貝輪づくり」「編みカゴづくり」 ・防災講演会

・佐賀導水について・・・導水路が総延長23kmになった。面積はやフードームの8個分の広さ、佐賀平野は低平地で流水の調節、排水処理などの流水の正常な機能の維持が困難。

### ■「黒髪山の自然を守る連絡協議会」活動参加報告（報告者：馬場清）

①6月8日、佐賀県支部の支援協力団体の「黒髪山の自然を守る連絡協議会」の龍門ダム北壁及びダム湖周回路の動植物の監視活動と観察会に参加しました。



梅雨前の黒髪山の溪谷にはカジカガエルの美声が響き渡り、山系には希少種の可憐なクロカミラン、クロカミシライトソウ、カネコシダなどが生育しています。近年は盗掘等でひどく激減しております。今回、落石防止工事の作業員が踏みつけや盗掘防止のため、事前確認監視活動が行われました。岩山の北壁等の植栽はスコップで確認作業を行いました。当日は茨城県在住の佐賀県支部会員、山澤さんも見えられ、監視活動にも参加されました。観察された野鳥はソウシチョウ十数羽、シジュウカラ、ウグイス、アカショウビン(声)、等 10 種。植物はクロカミラン、ヒナラン、マツバラン等 30 種以上。昆虫 10 数種を確認しました。

②6月28日、「黒髪山の自然を守る連絡協議会」の定期総会に参加しました。



左から クロカミラン、カジカガエル、ベニツチカメムシ (写真提供：馬場清さん)



## 有明海の満潮時刻 (白石・住ノ江港)



8月	2(土)	0:06/5.2m	12:20/4.8m	9月	6(土)	6:22/4.9m	19:24/5.3m
	3(日)	0:37/5.0m	13:03/4.5m		7(日)	7:25/5.4m	20:15/5.7m
	9(土)	7:34/5.4m	20:36/5.6m		13(土)	11:50/5.5m	23:47/5.4m
	10(日)	8:31/5.7m	21:25/5.9m		14(日)		12:25/5.1m
	16(土)	0:22/5.4m	12:51/5.1m		15(祝)	0:12/5.0m	13:04/4.7m
	17(日)	0:52/5.0m	13:37/4.6m		20(土)	6:38/4.5m	19:14/4.9m
	23(土)	7:40/5.0m	20:21/5.3m		21(日)	7:19/4.9m	19:47/5.2m
	24(日)	8:18/5.3m	20:54/5.4m		23(祝)	8:31/5.4m	20:50/5.6m
	30(土)	11:30/5.2m	23:37/5.3m		27(土)	10:46/5.5m	22:46/5.5m
	31(日)		12:01/5.0m		27(日)	11:17/5.3m	23:13/5.3m

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

- 東与賀海岸  
潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！
- 鹿島新籠海岸他  
潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。）



## 東よか干潟シンポジウムのご案内

東与賀干潟（大授搦）のラムサール条約登録を目指している佐賀市主催の「東よか干潟シンポジウム」が昨年続き開催されます。佐賀県支部も野鳥写真展示に協力しています。

【日時】2014年7月27日（日）  
13:30～16:30

【場所】佐賀市東与賀町  
東与賀文化ホールふれあい館

### 【主な内容】

- ・基調講演「東よか干潟の魅力」
- ・こどもたちからの報告
- ・パネルディスカッション
- ・有明海写真展 他

参加費無料



### 目的

有明海は、日本の干潟の約4割に相当する広大な干潟を有しています。その奥部に位置する東よか干潟は、シギ、チドリが日本一飛来する自然の宝庫です。

この干潟の価値について理解を深め、多様な生物が生息する豊かな自然環境を後世まで引き継いでいくことが必要です。

次世代を担うこどもたちと一緒に、干潟の価値や魅力を知る機会として、シンポジウムを開催します。

### プログラム

オープニング：「よかっ子ソーラン」踊り 13:35～

東与賀小学校6年生全員による踊り

基調講演：東よか干潟の魅力 13:50～

- 1) 森の恵み・川の恵み  
島谷幸宏氏（九州大学大学院教授 日本湿地学会会長）
- 2) なぜシギ・チドリが多く飛んでくるのか  
佐藤正典氏（鹿児島大学大学院教授）

演 奏：森からの贈り物 14:30～

吉野ヶ里/バンブーこどもオーケストラ 10分休憩

こどもたちからの報告：私たちの干潟は日本一 15:00～

- 1) 中海からの報告 鳥取県米子市 中学生
- 2) 東よか干潟からの報告 佐賀市東与賀町 小・中・高校生

干潟の楽しみ：パネルディスカッション 15:20～

コーディネーター 竹下泰彦氏（前佐賀市環境部長）  
先進地より 米子水鳥公園 荒尾市  
地元より シチメンソウを育てる会 東与賀町有志

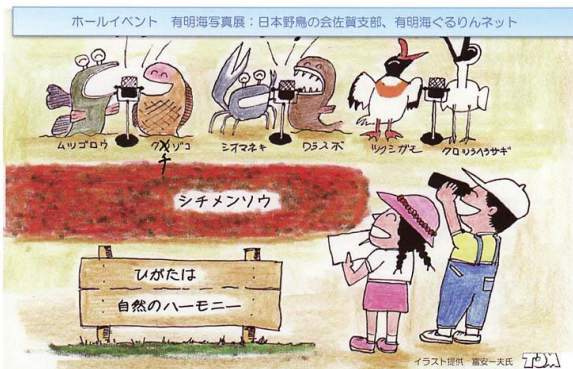
フィナーレ：伝えていこう 東よか干潟のすばらしさ 16:20～

歩絵夢（ポエム）によるリズムダンス



- 主催：佐賀市
- 後援：東与賀まちづくり協議会 NPO 法人有明海ぐるりんネット
- 問い合わせ

佐賀市環境政策課 TEL 0952-40-7201 佐賀市東与賀支所環境課 TEL 0952-45-1024  
NPO 法人有明海ぐるりんネット TEL 090-4774-6611



## 室内学習会のご案内

【日時】2014年9月7日 13:00～15:00

【場所】佐賀市天神 佐賀市立図書館2階多目的ホール ☎0952-40-0001

【テーマ】「日本一の大授搦」・・・ラムサール条約登録に向けての勉強会

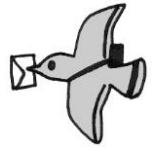
干潟に集まるシギ・チドリたちの映像を見ながら「なぜこんなにたくさんの鳥たちが集まるのか」を参加者の疑問・質問・ご意見など自由に出し合い「大授搦」のすばらしさを再確認してみましょう！

【その他】会場では 写真展や物資販売もします。ご家族・友人・知人の方など自然に関心をお持ちの方がいらしたら、是非一緒にご参加ください。参加は無料です。





## 皆さんからのおたより



### ● 「岡山森林公園探鳥行」・・・宮原 明幸さん（佐賀市）

何年ぶりでしょうか、岡山森林公園へ夏鳥達に会いに行き行って来ました。岡山森林公園は中国山地の奥深く鳥取と岡山の県境にあります。トチ、ブナ、カラマツ、ミズナラ等々の大木が鬱蒼と茂る森の中に、遊歩道を整備した自然公園です。湿地にはザゼンソウやオタカラコウ・バイケイソウがあります。

到着と同時にキセキレイが出迎えてくれます、ウグイス・オオルリ、ミソサザイが高らかに歌っています。遠く近くホトトギスの声も聞こえています。九州では終わったウツギの花が盛りです。

お天気は・・・予報では初日・曇り時々雨、2日目・曇り、3日目・曇り後晴れ、と梅雨時としてはますますです。雨です！雨具を着て園地を廻ります。『カッ！カッ！カッ！カッ！』ゲラ類が幹を渡ります。カラ類が木葉の上をチョロチョロ動いています。カラマツの天辺にはオオルリ、ツツドリも鳴き出しました・・・と書けば、鳥達で溢れているようですが違います。以前訪れた時とは、鳥の密度が薄くなったような？其処此処で鳴いていたコルリは一声もありません。クロツグミも歌いません。森は昔のままなのに。

雨とガスに追われ一旦宿へ。宿は『国民宿舎いつき』です。以前は公園内に宿泊施設があって、安いし便利だったのですがネ。食事を済ませ、再び森へ。

『ブッキョッコー』遠くでコノハズクが鳴いただけ、あとは闇です。

2日目、4時起きで森へ。ガスが流れ雨が落ちて来ます。お目当てのコルリ・マミジロは声もありません。降ったり止んだりガスったりの中、昼過ぎまで園地を廻ります。ヒガラ・コガラにジュウイチの声。ミソサザイが巢から飛び出します。キビタキの警戒鳴き、モリアオガエルの産卵も見られ、そこそこ楽しめました。

途中で『ヤブサメが鳴きました。』と加藤さん。あとの3人『・・・』なんも聞こえません。いよいよ私も老人の仲間入りです（笑）

天気はいまひとつですが、時間はあります・・・森林公園の奥へつながる『大型車通行止め』の看板のある道へ・・・中国電力の水源涵養林です。

クロツグミが歌っています。雛の声でしょうか？「ピョッピョッピョッ」と止むことなく聞こえています。「カッ！カッ！カッ！」アカゲラが来ます。「キョロロロオーキョロロロオー」アカショウビン。アオバト、キビタキ、ミソサザイ、カラ類も飛び込んで来ます、すごい密度です♪

あっという間に時間が経ちます、夜また来ることに決め、宿へ。

さすがに夜は静かです。アオバズクでもと中原さん手笛をホーホーホー。ヨタカが直ぐに反応します。「キョキョキョキョキョ」遠くで鳴きだし近づいて来ます。声は私達の居る処をグルッと廻ります、偵察に来たのでしょうか？また、静寂・・・

最終日、5時起きです。昨晚の森へ。クロツグミが車道の彼方此方に下りて採餌しています。「ヒィー・チーン」昨夜は聞けなかったトラツグミも鳴き出します。宿へチェックアウトに戻りかけます。突然猛禽が飛び出し車道沿いに飛びます。

『なにっ?』『ミサゴ?』『トビ?』 フロントガラスいっぱいの翼長、白っぽい頭部。クマタカです。

園地は、人が入るから隣接する涵養林に集中するのか? すばらしい処です♪。

11時、帰路に

『岡山にブッポウソウが100つがい繁殖している町が野鳥誌に出ていましたが、ナビで検索して見てください』と加藤さん。早速中原さん検索。『吉備中央町』1時間で到着が出ます。1時間ならと寄り道することに。

※ 日本野鳥の会岡山支部が吉備中央町を中心に、巣箱の設置等を行い、十数年に渡り保護活動を行っていて、今では100つがいほど確認されているそうです。町もエリア全域を天然記念物に指定し、賀陽エリアに巣箱を設置して保護活動を行っています。

最寄りの道の駅に立ち寄り情報収集です。ブッポウソウの観察ポイントマップを手に入れ出発します。

ブッポウソウの幟の立ったお宮さんへ、狭い道を上がって行きますと、小さな祠の側の電柱に巣箱があります。祠にはモニターが置かれ、巣箱で抱卵するブッポウソウが映っています。巣箱よりブッポウソウ出て来ます。直ぐに連れ合いが餌を運んで来て給餌します。

『50メートル以内に近づかない、20分以上観察しない』との決め事がありますので、次へ・・・道沿いの電柱に点々と巣箱が設置してあり、3番目の巣箱にはブッポウソウが止まっていた。あとの巣箱は抱卵中なのか?入っていないのか?確認出来ませんでした。もう3時、佐賀まで7時間の道程です。今回の探鳥行はここで幕、帰路に。

## ●山澤 健一さん（茨城県神栖市）からのお便り2点

### (1)「江戸時代に描かれた鳥たち」

私は茨城県神栖市在住で、佐賀県支部会員の山澤と言います。

なんで茨城県人が佐賀県支部にとお思いでしょうか、私は西松浦郡南波多村(現・伊万里市南波多町)で生まれ有田町で育ち、高校を卒業後県外に出ました。そのうち有田に帰郷した時、野鳥観察することを考え佐賀県支部に入会しました。そしてその機会が訪れました。(注編集係りより・・・山澤さんは6月初め頃に帰省され、6月8日の「黒髪山の自然を守る連絡協議会」の監視活動&観察会に参加されました)

野鳥観察・撮影も好きですが、古本屋巡りも好きで(主に鳥瞰図)、帰郷に合わせて有田に古本屋がないか探しましたがありませんでした。とりあえず新刊主体の書店で「江戸時代に描かれた鳥たち」という本を見つけました。私も江戸時代に発行されたと思われる巻物をばらした体裁のもので、鳥を描いた古書を持っているので、旅行中というのに重い本を購入しました。

私が持っている古書は古書店のカタログにはただ単に「鳥図」とあるだけで発行年や著者なども不明のものです。その中に生寫(生写)と書かれた、瑠離の刷りではなくたぶん直筆を意味するものなどが掲載されています。

この古書に載っている鳥は次のようなものです。何でしょう?

和名にはルビがふってあり推定つきますが、片仮名表記のものもあります。

- ①金鶏、②雉子、③鴨、④白鷗、⑤雉女子、⑥ツチクレ、⑦鸞、⑧白頭鳥、⑨八頭、⑩小マメ、⑪チカラ、⑫アツ鳥、⑬時鳥、⑭黄鳥、⑮ノコ鳥、⑯川ヒバラなどです。

今度巻物として仕上げたらお披露目したいと思っています。 今回は数点を紹介します。



左：白頭鳥（シロガシラ）      ツチクレ（キジバト）      上：深山ホシロ（ミヤマホオジロ）  
 中：鶯（ウソ）      下：鶯（ウグイス）

## (2) 「神栖市の野鳥観察ガイドマップ」

茨城県在住の佐賀県支部会員・山澤です。  
 この6月に佐賀県支部は発足20周年を迎えました。  
 私の住んでいる茨城県神栖市にも『波崎愛鳥会』と  
 いう自然愛好会があり、私も所属しています。  
 この3月に創立30周年を迎えいろいろな行事を行  
 いました。  
 その一例は山階鳥類研究所の保全研究室（鳥類標識  
 センター）の研究員の方の講演会や、神栖市野鳥観察  
 ガイドマップの作成・配布、佐渡ヶ島一泊探鳥会の  
 実施などを行い成功裏に終わりました。  
 そこでこのガイドマップを紹介します。  
 （編集係より・・・10年後の支部30周年に  
 向けての参考になりそうですね。）



## ●荒木 潔枝さん（小城市）からのお便り

ウグイスは毎日、ホトトギスは時々鳴いています。今年は初めて、6月中旬からヒヨドリが来ます。冬から春にかけては毎年来ていますが、夏は初めてです。7月になり、ブルーベリーが餌場となっています。7月8日、アブラゼミとヒグラシの声を聞きました。ミョウガも立ち始めています。コジュケイの声もよく聞きます。スズメ、ツバメ、シジュウカラ、ムクドリ、ハクセキレイ、キジバト、ハシボソカラス、アオサギはいつも見ます。

20周年記念の総会や祝賀会は楽しかったです。総会はとても会員が真面目に取り組まれている様子がありましたし、野鳥の会の会員とは知らずにいた知人とも出会い、とても楽しかったです。福岡の会員の方から、今抱えている、悩みなども聞きました。参加するだけで申し訳ありませんでした。役員の皆様、本当にありがとうございました。

## ●「ブロンズトキウォッチャー」・・・橋間 みち子さん（小城市芦刈町）

今日、芦刈の夏祭りのために芦刈海岸を掃除しました。掃除が終わり自転車で帰っていたら、家の近くのレンコン田の所に数台の車が止まっていた。レンコン田の東の土手の上を見ると三脚にカメラを付けた、たくさんの人を道けました。「ブロンズトキ」を見ていました。私が持っていたホーキでその「トキ」を追い出してくれと言われました。でもそんなことをしたら私は悪物。写真を撮られてしまいます。やめました。そのかわり写真を撮っている人々を写真に撮らせてくれと頼みました。新聞記者より「人の顔を写したらいかんよ」と言われ「はい」と答えながらシャッターを押しました。珍しい鳥をいつも見ている私にとっては、こんなに大勢の人を見るほうがびっくりする事でした。



## 皆さんからの野鳥&生きもの情報



### ■宮崎 八州雄さん（鹿島市）

- 4月4日 【新籠】ホウロクシギ31、マガモ雑種♂1、ヨシガモ5
- 4月5日 【川副町】チュウヒ1、ツバメチドリ1
- 4月10日 【新籠】ツクシガモ383+、ハシビロガモ50+、ヨシガモ8、ウミアイサ♀1、クロツラヘラサギ9、オオソリハシシギ1、ウミネコ若鳥8
- 4月11日 【新籠】チュウシャクシギ28
- 4月14日 【鹿島市浜】コチョウゲンボウ1 【鹿島市七浦】ツルシギ5
- 4月19日 【福富】クイナ1、ウズラシギ1、オジロトウネン4、シマアジ♂♀
- 4月24日 【新籠】チュウシャクシギ970+、ホウロクシギ5、オバシギ2、アオアシシギ18、ツルシギ2、シロチドリ1、ツクシガモ97、ヨシガモ6、シマアジ1
- 4月29日 【大授搦】カラフトアオアシシギ1、サルハマシギ1、コオバシギ1、エリマキシギ1、ツルシギ8、ツクシガモ260+、オオソリハシシギのスネに緑フラグ（ASDの文字）、クロツラヘラサギ9（1羽の脚にS62の標識）、カモメ成鳥1or2



<番外> 4月19日、唐津市鏡山でカタシロワシ若鳥1羽を瀬井俊和氏・水落富士夫氏が観察された。おそらく佐賀県初記録。

5月14日 【新籠】ムナグロ20、オグロシギ6、ツルシギ3、アオアシシギ152、キアシシギ27

5月15日 【新籠】クロツラヘラサギ6 【白石町】タマシギ♀1、オオジシギ1

5月17日 【大授撮】トウネン1040+、サルハマシギ2、オバシギ10、コオバシギ1、カラフトアオアシシギ1、オグロシギ3、オオソリハシシギ167、シロチドリ雛2

5月19日 【鹿島市納富分】夜、ホトトギス声（初認）

5月22日 【鹿島市音成】キョウジョシギ1、キアシシギ25、ツルシギ3

5月24日 【新籠】クロツラヘラサギ6、ツクシガモ1 【鹿島市音成】スナメリ2+

5月30日 【鹿島市高津原】フクロウ声

### ■松田 信義さん（佐賀市）

7月7日 【小城市芦刈町】ブロンズトキ 九州初？



### ■八木 ひとみさん（佐賀市）

5月17日 【大授撮】クロツラヘラサギ（脚にフラグ付き）

クロツラヘラサギ5羽、ヘラサギ1羽が一緒でした。

山階鳥類研究所に6月2日に連絡。6月8日、山階鳥類研究所より返信。

右脚：赤 S52（上に白） 左脚：橙/白/緑 齢：幼鳥

Namdongji(37.39166,126.6754)で2013年6月26日に保護された個体。

2013年9月8日に Songdo, South Korea (37.378,126.678) で放鳥。

日本での報告は初めて。保護収容されて放鳥された個体なので、生存確認の喜びがひとしおのことです。





## 支部からのお知らせ

### ●カササギバッチの販売にご協力下さい！

20周年記念として製作した「カササギバッチ」はたいへん好評です。今後佐賀県民の皆さんに「県鳥」としてかわいがっていただけるようにこのバッチを広めて行きたいと思っています。1個500円で販売しています。

「お知り合いの方へのプレゼント」などいかがでしょうか？また、お店でも取り扱っていただけたらありがたいものと思っています。販売を引き受けてくださるお店をご紹介いただけたら嬉しいです。

バッチの購入・販売に関することは青柳良子(090-1659-7353)までご連絡下さい。なお、会員・家族会員の方でまだお手元にバッチが届いていない方も、青柳までご連絡下さい。



### ●支部設立20周年事業 会計報告

(支部会計係：江里口立子)

#### 収入の部

(単位：円)

項目	決算額	摘要
20周年記念事業基金より	906,049	
会費	159,000	1人3,000円(53人分)
バッチ売上	100,000	
雑収入	15,000	お祝儀
預金利息	49	
計	1,180,098	

#### 支出の部

項目	決算額	摘要
会議費	2,193	打合せ
通信費	19,040	往復はがき・案内状・他
印刷費	5,239	横断幕・他
記念行事費	430,703	ホテル支払 365,320 安西氏支払 65,383
かささぎバッチ製作費	256,540	振込料840円含む
計	713,715	

収入総額	1,180,098
支出総額	713,715
差引残高	466,383 次回記念事業へ

運営安定基金  
1,765,070円

平成26年7月10日現在





# さやかの四コママンガ

【画：中村さやかさん（鹿島市）】



スコープ 忘れたことも言う



同じ蓮田に バンの巣がありました。





## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費一般 300 円・会員 100 円・中学生以下無料)

日時：8月3日(日)、9月7日(日) 8:00~11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：8:00 玄洋高校北西の端道路

日時：8月5日(火)、9月2日(火) 10:00~ (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：8月9日(土)、9月13日(土) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：8月10日(日)、9月14日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：8月17日(日)、9月21日(日) 9:00~12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：8月23日(土)、9月27日(土) 8:00~11:00 (定例探鳥会) ※集合時間にご注意を！

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：8:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費 100 円)

※8月の観察会はお休みします。9月からの観察会にご期待を！

## おもしろ WEB サイト紹介

「Forest Notes」というインターネットのWEBサイトを見つけました。

日本各地の「森の声を聴く」というコンセプトのサイトです。

現在、青森県白神山地、長野県志賀高原、岐阜県飛騨高山、東京都高尾山、高知県馬路村、宮崎県諸塚村、鹿児島県屋久島の7か所の森の音を聴くことができます。

このうち、白神山地、飛騨高山、馬路村、諸塚村は森に設置されたマイクで音声が生配信されていて、今現在の森の音を、ほかの地区は録音されたサンプル音声を聴くことができます。正式な利用は有料の会員登録をしなければなりませんが、無料の試聴ができます。ライブ試聴は短時間で停止しますが、一度停止しても何度も試聴できるため、事実上無制限に聴くことができます。(^^)

運営しているのは「JVCケンウッド」 かつての日本ビクターとケンウッドが合併してできた会社です。こんなこともやってるんですね。

聴いてみたいという方は下記のアドレスをクリックしてください。

トップページ <https://www.forestnotes.jp/index.html>

試聴ページ <https://www.forestnotes.jp/Contents/play>

今は野鳥の少ない時期ですが、春の渡りの時期の早朝に聴くと楽しいだろうなー。

## ～編集係りからのお知らせ～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。(編集係り：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 TEL:0942-84-4391 携帯:090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)

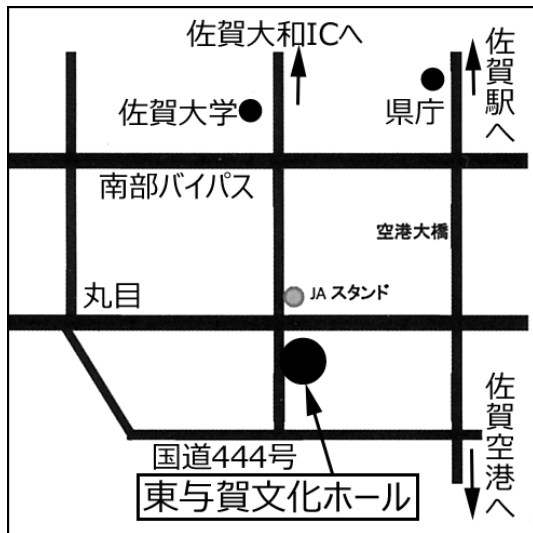




# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡！

①7月27日 東よか干潟シンポジウム



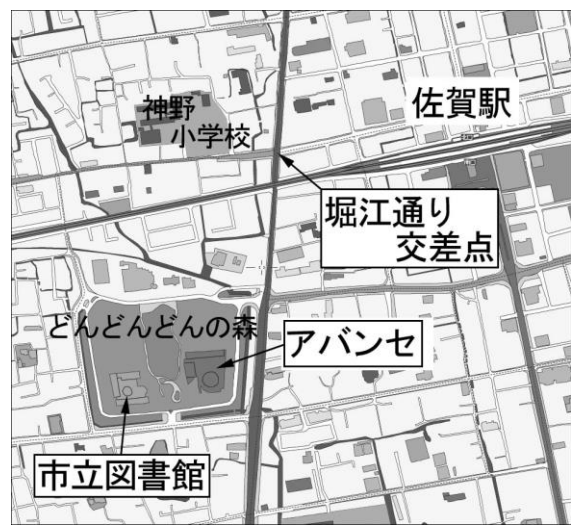
②8月17日 ⑤9月14日 佐賀市・森林公園



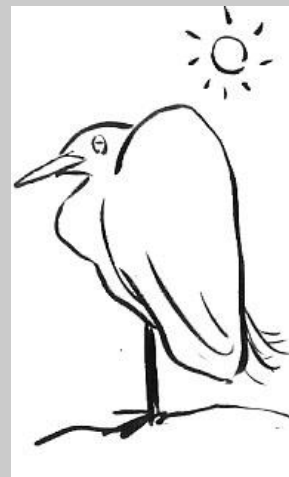
③8月24日 ⑦9月28日 東与賀・大授搦



④9月7日 室内学習会(佐賀市立図書館)



⑥9月21日 鏡山(唐津市)





## 観察会などのご案内 (2014年7月～9月)

### ①7月27日(日)

#### 東よか干潟シンポジウム(佐賀市)

[時間&場所] 13:30～16:30

佐賀市東与賀町 東与賀文化ホールふれあい館  
ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)登録を目指す、佐賀市主催のシンポジウムです。支部からも写真展に協力しています。詳しくは18ページの案内をご覧ください。

### ②8月17日(日) ⑤9月14日(日)

#### 森林公園観察会(佐賀市)

[時間&場所] 08:00

佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場  
[担当] 島田 洋さん(佐賀市)  
[携帯] 090-2393-1286  
[見どころ] 9月になると渡りの準備をはじめめる夏鳥たち。思わぬ鳥に出会えるかも。

### ③8月24日(日) ⑦9月28日(日)

#### 東与賀大授搦海岸観察会(佐賀市)

[時間&場所] (8/24)07:00 (9/28)10:00

大授搦海岸展望台

[担当] 田中丸雅雄さん(佐賀市)

[携帯] 080-1707-9225

[見どころ] 静かだった干潟にシギ・チドリたちが戻り、にぎやかになります。

### ④9月7日(日)室内学習会

#### 「シギ・チドリ」日本一の大授搦

[時間&場所] 13:00～15:00 佐賀市天神

佐賀市立図書館2F・多目的ホール

[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286

青柳 良子さん(小城市) 090-1659-7353

※詳しくは18ページをご覧ください。

### ⑥9月21日(日)

#### 鏡山・ハククマの渡り観察会(唐津市)

[時間&場所] 08:00 唐津市鏡山の山頂駐車場

[問合せ先] 宮原 明幸さん(佐賀市)

携帯 090-2507-7085

[見どころ] 渡りのピークを迎えたハククマ&ハイタカ、アカハラダカ、オオタカなど猛禽類。穏やかな天気になりますように。



## 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
 電話 03-5436-2626(代) FAX 03-5436-2636  
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸  
 事務局：島田 洋(電話：携帯 090-2393-1286)  
 〒849-0934 佐賀市開成1-3-11  
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」